

第 24 回日本循環器病予防セミナー 開催要項

本セミナーは循環器疾患の疫学と予防手法を学ぶもので、今年で 24 回目を迎えます。これまで約 900 名以上のセミナー終了者が輩出され、それぞれの分野で循環器疾患予防の指導者として活躍されています。

第 24 回セミナーは「疫学研究と臨床研究のトータルマネジメント：EBM 再訪」をテーマに、循環器の疫学の講義も取り入れながら、研究プロトコル作成を通じて疫学研究・臨床研究の重要性を学んでいただきます。

今回は上嶋 健治先生（京都大学大学院医学研究科 EBM 研究センター教授）のお世話の下、講師・チューターには循環器疾患の予防医学の第一人者である先生方をお迎えし、下記の通り開催致します。午前には講義、午後から夜までグループでの討議等、過密スケジュールではありますが、有意義な 4 泊 5 日間とさせていただける内容になっております。

予防・臨床分野で新たな共同研究を企画・推進する意欲のある方、新たに勉強してみたいと思う方など、奮ってご応募ください。

1. 期 日	平成 23 年 6 月 29 日(水)～7 月 3 日(日)
2. 場 所	ホテル アバンシェール京都 (〒606-8103 京都市左京区高野西開町 36)
3. 主 催	社団法人日本循環器管理研究協議会 財団法人日本心臓財団
4. 後援・協力 (依頼予定)	日本循環器学会 日本疫学会 日本公衆衛生学会 日本高血圧学会 NPO 法人 21 世紀臨床研究推進支援センター
5. テーマ 内容	疫学研究と臨床研究のトータルマネジメント： EBM 再訪 研究プロトコル作成を通じて臨床・疫学研究の重要性を学習する (研究プロトコル作成のための実践講座 初・中級コース) ・ EBM の意義と手法を学ぶ ・ 循環器臨床・疫学研究の企画・実施のポイントを学ぶ ・ 循環器予防・臨床研究デザインを作成する ・ グループワークによる検討と全体討論 (※講義内容は次ページ参照)
6. 実行委員(案)	<p>●実行委員長 上嶋 健治 京都大学大学院医学研究科 EBM 研究センター(教授)</p> <p>●実行委員 和泉 徹 北里大学医学部(学部長)/循環器内科学(教授) 磯 博康 大阪大学医学系研究科公衆衛生学(教授) 上嶋 弘嗣 滋賀医科大学生活習慣病予防センター(特任教授)/同大学(名誉教授) 大西 浩文 札幌医科大学医学部公衆衛生学講座/同大学医学部内科学第二講座(講師) 大久保孝義 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門(准教授) 大庭 幸治 北海道大学病院 高度先進医療支援センター(助教) 大平 哲也 大阪大学医学系研究科公衆衛生学(准教授) 岡山 明 公益財団法人結核予防会 第一健康相談所(所長) 笠原 正登 京都大学大学院医学研究科 EBM 研究センター(准教授) 川村 孝 京都大学保健管理センター(所長) 児玉 和紀 (財)放射線影響研究所(主席研究員) 高橋 敦彦 日本大学医学部総合健診センター(医長) 田中佐智子 京都大学大学院医学研究科 EBM 研究センター(助教) 中村 好一 自治医科大学公衆衛生学教室(教授) 町田 陽二 北里大学医学部循環器内科学(講師) 三浦 克之 滋賀医科大学社会医学講座 公衆衛生学部門(教授) 水嶋 春朔 横浜市立大学 医学部社会予防医学教室・ 大学院医学研究科疫学・公衆衛生学部門(教授) 保野 慎治 京都大学大学院医学研究科 EBM 研究センター(助教)</p> <p style="text-align: right;">(敬称略 五十音順) 2011.4.1 現在</p>
7. 受講生	40 名
8. 参加費	会員 70,000 円 / 非会員 90,000 円

講義内容(予定)

- 疫学研究の基礎：第一歩目は着実に
- 疫学研究のための倫理指針：なぜ指針が必要か
(講師) 中村 好一 / 自治医科大学公衆衛生学教室 (教授)
- 臨床試験を企画する：質の高い臨床研究を目指す
(講師) 上嶋 健治 / 京都大学大学院医学研究科 EBM 研究センター (教授)
- 研究計画の作成から実施へ：目的を実現するために
(講師) 岡山 明 / 公益財団法人結核予防会 第一健康相談所 (所長)
- コホート研究：疫学研究の基盤を学ぶ
(講師) 磯 博康 / 大阪大学医学系研究科公衆衛生学(教授)
- 症例・対照研究：なくてはならない研究法
(講師) 保野 慎治 / 京都大学大学院医学研究科 EBM 研究センター (助教)
- ランダム化比較試験：最強のツール足り得るか
(講師) 笠原 正登 / 京都大学大学院医学研究科 EBM 研究センター (准教授) ※H23. 4. 1~
- 臨床研究のピットフォール：転ばぬ先の杖
(講師) 川村 孝 / 京都大学保健管理センター (所長)
- バイアスと交絡：正しい解釈のために
- ハイリスク対策とポピュレーション対策：予防策の講じ方
(講師) 水嶋 春朔 / 横浜市立大学 大学院医学研究科疫学・公衆衛生学部門 (教授)
- 推定と検定：確からしさを測る
(講師) 大庭 幸治 / 北海道大学病院 高度先進医療支援センター (助教)
- 生存時間解析：頻度に時間的要素を加味すると
(講師) 大平 哲也 / 大阪大学医学系研究科公衆衛生学(准教授)
- 標準化と精度管理：疫学研究は誤差との戦い
(講師) 三浦 克之 / 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門(教授)
- 文献の批判的吟味：MR の甘言に惑わされない
(講師) 大久保孝義 / 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門(准教授)

★ランチョンセミナー

- 心不全を予防する 協賛：MSD 株式会社
(座長) 水嶋 春朔 / 横浜市立大学 大学院医学研究科疫学・公衆衛生学部門 (教授)
(演者) 和泉 徹 / 北里大学医学部 (学部長)/循環器内科学(教授)
- 疫学の社会貢献 (仮題) 協賛：ファイザー株式会社
(座長) 岡山 明 / 公益財団法人結核予防会 第一健康相談所 (所長)
(演者) 上島 弘嗣 / 滋賀医科大学生活習慣病予防センター(特任教授)同大学(名誉教授)
- セミナーの歴史と意義 (仮題) 協賛：第一三共株式会社
(座長) 中村 好一 / 自治医科大学公衆衛生学教室 (教授)
(演者) 児玉 和紀 / (財)放射線影響研究所 (主席研究員)

★モーニングセッション：臨床研究と疫学研究を考える」(NPO 法人 21 世紀臨床研究推進支援センター共催)

- 医療経済学的分析：効果の対価を知る
(講師) 水嶋 春朔 / 横浜市立大学 大学院医学研究科疫学・公衆衛生学部門 (教授)
- 政府統計データベース：どう使える？どう使う？
(講師) 岡山 明 / 公益財団法人結核予防会 第一健康相談所 (所長)
- 疫学研究と臨床研究の接点：あるべき姿を考える
(講師) 上嶋 健治 / 京都大学大学院医学研究科 EBM 研究センター (教授)

◆第24回日本循環器病予防セミナー日程表◆

2011.05.23 現在

第1日目 6/29(水)		
13:00~14:00	受付	
14:00~15:00	開講式・オリエンテーション	
15:00~15:50	【講義1】疫学研究の基礎: 第一歩目は着実に	自治医科大学公衆衛生学教室 / 中村 好一
16:00~16:50	【講義2】臨床試験を企画する : 質の高い臨床研究を目指す	京都大学大学院医学研究科 EBM 研究センター / 上嶋 健治
17:00~17:50	【講義3】研究計画の作成から実施へ : 目的を実現するために	結核予防会第一健康相談所 / 岡山 明
18:00~18:50	グループワークのオリエンテーション	
19:00~	Welcome Party	

第2日目 6/30(木)		
8:30~9:00	モーニングセッション: 臨床研究と疫学研究を考える(NPO 法人 21世紀臨床研究推進支援センター共催) 「医療経済学的分析: 効果の対価を知る」 演者: 横浜市立大学 医学部社会予防医学教室 大学院医学研究科疫学・公衆衛生学部門 / 水嶋 春朔	
9:00~9:50	【講義4】コホート研究 : 疫学研究の基盤を学ぶ	大阪大学医学系研究科公衆衛生学 / 磯 博康
10:00~10:50	【講義5】症例・対照研究 : なくてはならない研究法	京都大学大学院医学研究科 EBM 研究センター / 保野 慎治
11:00~11:50	【講義6】ランダム化比較試験 : 最強のツール足り得るか	京都大学大学院医学研究科 EBM 研究センター / 笠原 正登
12:00~13:00	ランチョンセミナー「心不全を予防する」 ◆演者: 和泉 徹 / 北里大学医学部(学部長)/循環器内科学(教授)	
13:00~13:50	【講義7】臨床研究のピットフォール : 転ばぬ先の杖	京都大学保健管理センター / 川村 孝
14:00~18:00	グループ討議	
18:00~19:00	夕食・休憩	
19:30~	研究課題発表・グループ討議	チューター

第3日目 7/1(金)		
8:30~9:00	モーニングセッション: 臨床研究と疫学研究を考える(NPO 法人 21世紀臨床研究推進支援センター共催) 「政府統計データベース: どう使える? どう使う?」 演者: 結核予防会第一健康相談所 / 岡山 明	
9:00~9:50	【講義8】バイアスと交絡: 正しい解釈のために	横浜市立大学 医学部社会予防医学教室・大学院医学研究科疫学・公衆衛生学部門 / 水嶋 春朔
10:00~10:50	【講義9】推定と検定: 確からしさを測る	北海道大学病院 高度先進医療支援センター / 大庭 幸治
11:00~11:50	【講義10】生存時間解析 : 頻度に時間的要素を加味すると	大阪大学医学系研究科公衆衛生学 / 大平 哲也
12:00~13:00	ランチョンセミナー「疫学の社会貢献(仮題)」 ◆演者: 上島 弘嗣 / 滋賀医科大学生活習慣病予防センター(特任教授)同大学(名誉教授)	
13:00~13:50	【講義11】標準化と精度管理 : 疫学研究は誤差との戦い	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 / 三浦 克之
14:00~18:00	グループ討議	
18:00~19:00	夕食・休憩	
19:30~	グループ討議	チューター

第4日目 7/2(土)

8:30～9:00	モーニングセッション:臨床研究と疫学研究を考える(NPO 法人 21世紀臨床研究推進支援センター共催) 「疫学研究と臨床研究の接点:あるべき姿を考える」 演者:京都大学大学院医学研究科 EBM 研究センター／ 上嶋 健治	
9:00～9:50	【講義 12】 文献の批判的吟味 :MRの甘言に惑わされない	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門／ 大久保 孝義
10:00～10:50	【講義 13】 疫学研究のための倫理指針 :なぜ指針が必要か	自治医科大学公衆衛生学教室／ 中村 好一
11:00～11:50	【講義 14】 ハイリスク対策とポピュレーション対策 :予防策の講じ方	横浜市立大学 医学部社会予防医学教室・ 大学院医学研究科疫学・公衆衛生学部門／ 水嶋 春期
12:00～13:00	ランチョンセミナー「セミナーの歴史と意義(仮題)」 ◆演者: 児玉 和紀／ (財)放射線影響研究所(主席研究員)	
13:00～	グループ討議	チューター
16:00～	発表会	
19:00～	結果発表／Farewell Party	

第5日目 7/3(日)

9:00～9:50	【講義 15】 循環器疾患予防に必須のストラテジ 運動療法を見直す :回復・治療・予防の三冠王に学ぶ	京都大学大学院医学研究科 EBM 研究センター／ 上嶋 健治
10:00～	修了証授与・閉講式	